

# 第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/26】

## 男子準々決勝4

三重県選抜 11

1	—	4
3	—	5
3	—	4
4	—	3

16 石川県選抜

PSO

御崎 智徳

審判:

坂井 奎太

## この試合のプレー集計

三重県選抜	30	SH数	31	石川県選抜
	3	速攻数	10	
	11	ST・SB	13	
	4	SH・P誘発アシスト	9	
	20%	GK阻止率	48%	
	8	EX反則数	10	

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

準々決勝第4試合は、予選リーグで接戦続きで勝ち上がってきた三重と、センター**⑥**水浦を軸とした強力な攻撃と落ち着いたディフェンスという、安定した試合運びで圧勝してきた石川との対戦。三重は攻撃時のミスは石川の攻撃力からすると最小限に抑え、逆に石川の攻撃ミスからの反撃で活路を見いだしたいところ。石川優位は動かないだろうが、どこまで三重が食い下がるか。

### 【1P】

試合開始から2分間ほどの攻防が続いたが、三重の攻撃ミスから石川がカウンター攻撃。それを**⑨**徳田が落ち着いて決めて石川が先制。さらに石川センター**⑥**水浦で退水を誘発し、自身のフットワークで決めて2点目。しかし石川ベンチはまだ不満で、「ゆっくりやるな」指示を出すと、攻撃テンポがアップ。またしても**⑥**水浦で加点し、さらに自陣で退水を誘発して**⑩**前田が決めて一気に4点。石川優勢でセンター**⑥**水浦にボールが入るがシュートミス。そこから三重は泳いで退水を誘発して、**⑧**伊藤が決めて1点を返して第1ピリオド終了(三重1－4石川)。

### 【2P】

三重**④**山本がペナルティを奪って点差を詰めるが、石川も直後に**⑩**前田が決めて再び3点差。石川ディフェンスが三重のシュート力ある選手を比較的空ける状況が続き、そこを三重**⑦**小坂が狙いすましたシュートを決めて再び2点差。石川はセンター**⑥**水浦、3－2速攻で**⑨**徳田が決めて点差を広げた。しかし、石川ディフェンスの甘さはそのまま、三重**③**山崎が15m近い距離からのロングシュートを決めて3点差に戻す。せっかくの得点も三重がパスミス、シュートミスから石川**④**松野に連続得点を許し、追い上げムードが盛り上がりえないまま第2ピリオド終了。三重4－9石川とピリオドで点差を広げられた状態で、後半の反撃ができるかどうか。

### 【3P】

三重が**⑨**山内の6mSHでペースをつかみかけたが、ややイージーなミスから石川**⑥**水浦が決め、さらに石川**④**松野にペナルティを奪われて連続失点。さらにセンターに入った石川**⑥**水浦が決めて一気に点差が開いた。しかし、石川のペナルティSHをGK**①**道上が防いで逆襲。三重**⑭**岩本が1点を取り返すが、長続きせず石川に追加点を奪われて第3ピリオド終了(三重7－13石川)。

### 【4P】

石川センター**⑥**水浦が止まらない。スタートからの攻撃でこの試合6得点をあげた。その後、双方が退水攻撃で点を取り合い、残り4分少々で石川ベンチがタイムアウトで選手交代。中学生世代に経験を積ませる余裕の展開となった。さすがに三重の攻撃に対抗できる力はなく、連続失点したが、最終的には三重11－16石川と、終始主導権を握った石川が準決勝進出を決めた。